

開講が2週間遅くなりました

新中学1年生クラスの皆様へ

このたびは平岡塾にご入会いただきありがとうございます。教職員一同、心より歓迎申し上げます。

今年の開講は新型コロナウイルスの影響で2週間延期せざるを得ませんでした。3月初旬の開講を楽しみにされていた皆様には大変申し訳なく、あらためましてお詫びを申し上げます。そして、本日の開講にこぎつけられましたのは、新入生の皆様ならびに保護者の皆様の深いご理解をいただけたからです。教職員を代表して心より感謝申し上げます次第です。

さて、本日より皆様は平岡塾で英語を学んでまいります。皆様はこれまで国語や算数など様々な教科を学んでいらっしゃいました。でも、「学ぶ」とはそもそも何でしょう。何かについて学ぶとき「こういうことかな、いやちがう、こうだろう」などと問いかけます。では誰に問いかけているのでしょうか。それは自分自身に対してであると同時に、同じ問いを共有する他者に対してです。学ぶとは自分との対話であると同時に他者との対話であり、それは偽りのない真摯な対話であることによって自己への深い反省と他者への広い共感を芽生えさせます。ですからフランスのある詩人は言ったのです。「学ぶとは誠実を胸に刻むことである」と。

この意味で「学ぶ」とは単に「技術を身につける」とか「グローバルな人材になる」といったことよりもはるかに根源的な営み、私たちがいかなる状況でも主体的に考え他者とともに生きていくうえで欠かせない営みなのです。

英語を使いこなすことはもちろんある面では技術です。ですから平岡塾は決してこれを軽んじることはいたしません。ただ平岡塾において皆様には技術としての英語を身につけていただくとともに、英語学習を通じて多くを「学んで」いただきたいと願っております。

かの詩人はこうも言っています。「教えるとは希望を語ることである」と。私どもは皆様とともに英語を学びかつ教えるなかで、たとえこのたびのような状況にあっても、希望を語る塾でありたいと思います。

2020年3月17日

平岡塾塾長 大町慎浩